



飛翔

3号

最後までやりきることの心地よさを実感

今まで9月に実施していた体育大会ですが、熱中症対策や行事の見直し等で今年度、5月29日(水)に実施いたしました。開会式では、3年生による心のこもった選手宣誓でこの体育大会に対する意気込みを全校生徒が感じることができました。その後、全校生徒の気持ちがそろったラジオ体操を披露してくれました。第四中のラジオ体操は、今まで先輩達が築き上げてきた宝物であり、次年度に活かせるすばらしい活動と言えます。その後の競技として、長縄跳び、選抜リレー、綱引き、全員リレーを午前中に実施しました。

各クラスの仲間の声援を受け、今まで取り組んで成果を存分に発揮し、クラスの絆を深めることができました。また、この行事でそれぞれの生徒が最後までやりきることの心地よさを体験することで、今後の学校生活がさらに充実することを期待します。

ご来賓、保護者の皆様には、強風の中、ご不便をおかけしましたが、生徒への応援を頂きましてありがとうございました。

体育大会の様子



体育大会を振り返って

3年生の生徒会本部役員、各クラスの体育委員代表者6名(多賀谷仁士くん、堀越夢那さん、松本朗茉くん、ロマンエリカさん、佐藤杏樹さん、櫻井優吏くん)から、①体育大会で頑張れたこと、②この行事を通して学べたこと、次に生かせることをインタビューしました。

体育大会で頑張れたこと

- 練習では、みんなの意見を取り入れながら、協力して取り組めた。
- 話し合っって決めた目標を実践し、やりきることができ、ベストを出せた。
- 少し不安はあったがクラスのみならず協力してベストを出せて、精一杯頑張ることができたので楽しむことができて良かった。

この行事を通して学べたこと、次に生かせること

- 仲間を信じて進むことや何よりクラスについてお互いに理解することができたことが嬉しかった。
- この大会を通して絆を深められたので、この絆をこの後に実施する飛翔祭などで生かしてクラスの団結力を強めていきたい。

JRC委員会がボトルキャップ(約560kg・ポリオワクチン280人分)を伊勢崎市社会福祉協議会に贈呈



JRC委員長 山田 陽愛さん

ボトルキャップは以前から集められていて、たくさん学校にあることは分かっていました。私は誰かのために努力を惜しまないことを続けたいと考えていました。ボトルキャップがポリオワクチンに活用されることは知っていたので、誰かの命を少しでも助けられる活動ができて大変満足です。また、ボトルキャップ集めは、CO₂削減にもつながり、SDGs活動にも生かされるので、これからも継続していきたいです。